

失敗しない基幹システム刷新ガイド

VB6 / Access からの段階移行で、
業務を止めずに刷新するための実践チェックリスト

2026 年 5 月版

池田 和司 / OceansBase

中小企業の経営者・情報システム担当向け

全 8 ページ・10 分で読めます

はじめに（このガイドを読むメリット）

このガイドを読み終えると分かる 5 つのこと

1. 自社の基幹システムが「いつまで使えるか」を客観的に判断できる
2. 刷新に踏み切るべき 5 つのサイン と、踏みとどまるべき 3 つの理由
3. 中小企業が失敗する 5 つのパターン とその回避策
4. 段階移行のステップごとの 概算費用と期間 の目安
5. IT 導入補助金 2026 を どこまで活用できるか の計算式

こんな方に書きました

- VB6 / Access の業務システムを 10 年以上使っている
- 触れる人がいなくなって不安
- 保守ベンダーから「サポート終了」と言われた
- 業界パッケージを買ったが半分しか使っていない
- DX しなきゃとは思いますが、何から始めるか分からない

著者について

池田 和司（OceansBase 代表）。島根県安来市を拠点に、中小企業の業務システム刷新を中心に活動。個人事業主体で全国リモート対応。本ガイドはこれまでの案件・相談事例から学んだ「失敗しないための型」を整理したものです。

自社診断チェックリスト（10項目）

以下に3つ以上当てはまったら刷新の検討開始時期です。5つ以上なら、3年以内の刷新を強く推奨します。

1. VB6 / Visual Basic 6.0 で構築されたシステムを業務で使っている
2. Microsoft Access が業務の中心になっている
3. 社員が辞めたら誰も中身を触れない（属人化）
4. Windows 11 にしたら一部機能が動かなくなった or 動かないと言われた
5. Access ファイルが 1 GB を超えている
6. 業界パッケージを買ったが半分以上の機能を使っていない
7. Excel と Access と手書き伝票が並行運用されている
8. 保守ベンダーから「来年で対応終了」「値上げ」を通告された
9. 新しい社員が入っても、システムの説明に1ヶ月以上かかる
10. 銀行・税理士から「DX化したほうがいい」と言われた

判定

チェック数	判定
0 ~ 2 個	現状維持で OK、3 年後に再診断を
3 ~ 4 個	検討開始時期、まずは現状調査から
5 ~ 7 個	1 ~ 2 年以内に刷新着手を推奨
8 個以上	緊急性高、半年以内に解析開始を推奨

失敗する 5 つのパターン

パターン 「全部一度に切り替える」

症状：旧システムを一気に停止し、新システムへ切替。結果：受発注が止まり、現場が混乱、社員が離反。回避策：段階移行で並行運用期間を必ず設ける。

パターン 「現状をそのまま再現する」要件定義

症状：旧システムの機能を全部新システムに移植する依頼。結果：旧システムの設計上の問題まで持ち越し、刷新の意味が薄れる。回避策：業務フローから整理し、無駄な機能は切る。

パターン データ移行の見積もりが甘い

症状：データ移行を「最後に少しやれば OK」と楽観視。結果：予算の 30 ~ 50% が追加で必要になる。回避策：解析フェーズでデータ精査し、見積もりに反映する。

パターン 保守を発注先に完全依存

症状：発注先しか触れない技術スタックで構築。結果：5 年後にその会社が撤退すると身動き取れない。回避策：汎用的なオープン技術（Web 標準・公開ライセンス）で構築。

パターン 業界パッケージを「カスタマイズで何とかする」

症状：パッケージの 7 割が合わないのにカスタマイズで対応。結果：カスタマイズ費が 1,000 万円超、パッケージのアップデートに対応できなくなる。回避策：オーダーメイド開発のほうがトータルコストが安いケースが多い。

段階移行の進め方（4 ステップ）

ステップ 無料相談（0 円・1 日）

- ・現状ヒアリング 30 分
- ・「刷新が必要かどうか」だけを判定
- ・必要なら次のステップへ、不要ならそのままお見送り

ステップ 解析・診断（20 ～ 30 万円・2 週間）

- ・既存ソースコード解析
- ・業務フロー可視化（図解で納品）
- ・データの量・複雑さの精査
- ・このフェーズの納品物は他社へ持ち込める形で渡します

ステップ 要件定義（80 ～ 100 万円・4 週間）

- ・「何を残す・何を捨てる・何を新設する」を決定
- ・画面イメージ・データ構造を文書化
- ・概算見積もり提示

ステップ 段階開発（400 ～ 600 万円・3 ～ 5 ヶ月）

- ・モジュール毎に開発・並行運用・切替
- ・業務は 1 日も止めない
- ・最終的に旧システムを完全停止

合計

- ・ 600 ～ 800 万円
- ・ 6 ～ 8 ヶ月
- ・ お客様作業時間：累計 30 時間以下

補助金活用シミュレーション

IT 導入補助金 2026 (通常枠 / 業務プロセス枠)

- 補助対象：基幹システムの刷新
- 補助率：1/2
- 補助上限：450 万円

計算例

項目	金額
プロジェクト総額	700 万円
補助対象額	700 万円
補助金支給額	350 万円 (補助率 1/2、上限 450 万円以内)
実質負担額	350 万円

補助金活用のポイント

- IT ベンダーは「IT 導入支援事業者」の登録が必要
- OceansBase は登録予定 (必要に応じて補助金申請も支援)
- 申請から採択まで 2 ~ 3 ヶ月 かかるため、補助金前提なら 早めの動き出し が重要

他に使える補助金

補助金名	上限	適用ケース
事業再構築補助金	1,500 万円	業態転換・新分野展開を伴う場合
ものづくり補助金	1,000 万円	製造業の生産管理システム刷新
小規模事業者持続化補助金	200 万円	小規模事業者の販路開拓

価格・期間の早見表

規模別の概算

企業規模	機能数	価格レンジ	期間
小規模（年商 1 ～ 5 億）	3 機能以下	300 ～ 500 万円	3 ヶ月
中小（年商 5 ～ 30 億）	5 機能	500 ～ 800 万円	4 ～ 6 ヶ月
中堅（年商 30 ～ 100 億）	7 機能以上	800 ～ 1,500 万円	6 ～ 12 ヶ月

機能例

販売管理 / 受発注管理 / 在庫管理 / 請求管理 / 配送管理 / 与信管理 / 会計連携

保守費用

- 月額：5 ～ 10 万円
- 内容：軽微な修正・障害対応・問い合わせ対応

追加開発

- 1 機能追加：30 ～ 80 万円
- データ移行追加：10 ～ 50 万円

次の一歩

今、何から始めるか？

まずは情報収集だけしたい

- このガイドを社内で共有してください
- 3ヶ月後にもう一度、自社診断チェックリストを試してください

もう少し具体的に検討したい

- 「3分で診断する」フォームにご回答ください
- 自社の状況に合わせた、より具体的な助言をお返しします

今すぐ動きたい

- 30分の無料相談を予約してください
- 現状を伺った上で、解析フェーズに進むかどうか、その場で判断できます

お問い合わせ先

- Web: <https://oceans-base.com/services/legacy-system-replacement>
- メール: info@oceans-base.com
- フォーム: <https://oceans-base.com/contact>

免責事項

本ガイドの記載内容は、執筆時点（2026年5月）の情報に基づいています。実際のプロジェクトでは、お客様の固有の状況に応じて費用・期間が変動します。補助金制度の内容は申請時期によって変わるため、最新情報を必ずご確認ください。

OceansBase © 2026 / 池田 和司